

航空機内における EMC, 携帯電子機器の使用制限について

伊藤 達郎

全日本空輸株式会社 整備本部 技術部

Use of Portable Electronics Devices aboard aircraft

Tatsuro Ito

Engineering Department, All Nippon Airways Co., Ltd.

航空機の電磁干渉に対する堅牢性はその世代が新しくなるごとに向上しているが、機内に持ち込まれる携帯電子機器からの電磁干渉に対して完全に耐性があるところまでは至っていない。従って、安全運航の確保のため、その使用制限が必要となる。

ここでは、米国連邦航空局規則、米国航空無線通信委員会の検討、本邦国土交通省規則を基に以下の点を概観する。

1. 飛行フェーズによる使用制限
2. 携帯電子機器による使用制限
3. 航空機の機種による使用制限
4. 電磁干渉を発生させると考えられるメカニズム
5. 現在の携帯電子機器の使用制限に関する検討動向

その上で、今後の機内における IT 情報関連、医療関連の目指すべきサービス構想等を可能な範囲で紹介する。

1. 機内インターネットサービス（現在休止中）
2. 機内携帯電話システム（海外でサービス開始予定）
3. 機内医療体制（構想）